

当初予算の基本的方向は…

平成31年度予算は、わがまちプランに掲げる「よいまち」の実現に向けて、地方創生事業を推進するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標を達成するための事業を盛り込んでいます。



財政担当歴12年目に突入。大竹市役所で最も財政に通じているというウワサもちらほら。そんな建石課長補佐に、平成31年度予算のポイントを教えてくださいました。

わがまちプランでは、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をテーマに、笑顔や元気があふれる大竹市になるよう、6つの基本目標を定めています。

- 1 大竹を愛する人づくり
- 2 生活基盤が整ったまち
- 3 安全なまち
- 4 安心できるまち
- 5 心にゆとりを感じるまち
- 6 行政・社会の仕組みづくり

平成31年度 予算

平成から令和へつなく予算

教えてタテイシさん 今年度の予算って、どういう中身なんですか？

問い合わせ 企画財政課 ☎092121 【予算の名称は、平成31年度になります】

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略では、

- ・地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する
- ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

を基本目標としています。

これらの計画に基づき、一步一步進んでいくことが市民の皆さんが考える「よいまち」の実現につながると考えています。

一般会計・特別会計予算の概要

一般会計は、大竹駅周辺整備事業や本庁舎耐震改修事業などの投資的経費の増加により、前年度当初予算と比べ0.5%の増となっています。歳出では大規模な投資的経費のある総務費や土木費などが増加し、可燃ごみ広域処理事業が減となる衛生費などは減少しています。

歳入は、大竹駅周辺整備事業に伴う社会資本整備総合交付金などの国庫支出金は増加しました。市債はごみ広域処理事業の減と、これまで積み立ててきた地方創生事業基金を活用するなど発行額の抑制に努めたため減少しました。

7つの特別会計の合計は、72億7924万円で、前年度と比べると5.9%の増となりました。

企業会計

名称	区分	平成31年度	平成30年度	対前年度比(%)	
水道事業会計	収益的	収入	5億5,397万円	5億5,778万円	▲0.7
		支出	5億4,725万円	5億2,961万円	3.3
	資本的	収入	7,133万円	5,529万円	29.0
		支出	2億3,092万円	2億2,295万円	3.6
工業用水道事業会計	収益的	収入	5億5,526万円	5億4,784万円	1.4
		支出	4億3,483万円	5億463万円	▲3.9
	資本的	収入	2億3,216万円	2億6,455万円	▲12.2
		支出	5億3,571万円	5億7,203万円	▲6.3
公共下水道事業会計	収益的	収入	9億9,978万円	9億8,532万円	1.5
		支出	9億6,097万円	9億2,977万円	3.4
	資本的	収入	3億9,687万円	2億6,922万円	47.4
		支出	5億8,707万円	4億8,012万円	22.3

一般会計・特別会計

名称	平成31年度	平成30年度	対前年度比(%)
一般会計	149億9,219万円	149億2,461万円	0.5
特別会計 計	72億7,924万円	68億7,557万円	5.9
国民健康保険	36億628万円	32億4,170万円	11.2
漁業集落排水	3,460万円	3,424万円	1.0
農業集落排水	4,762万円	4,721万円	0.9
港湾施設管理受託	6,552万円	5,821万円	12.5
土地造成	2億9,333万円	3億9,679万円	▲26.1
介護保険	27億5,347万円	26億3,692万円	4.4
後期高齢者医療	4億7,842万円	4億6,050万円	3.9
合計	222億7,143万円	218億18万円	2.2

会計別予算

歳出(目的別)

項目	内容	平成31年度()は30年度	前年度比(%)
議会費	議会の活動にかかる経費	149億9,219万円 (149億2,461万円)	0.5
総務費	市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	1億8,832万円 (1億8,703万円)	0.7
民生費	生活保護や児童・高齢者などの経費	20億8,095万円 (15億9,595万円)	30.4
衛生費	衛生的な生活環境を守るための経費	44億5,774万円 (42億4,890万円)	4.9
労働費	労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	14億9,776万円 (25億8,515万円)	▲42.1
農林水産業費	農林業や水産業の振興などの経費	1億2,010万円 (1億2,010万円)	0.0
商工費	商工業の振興や観光宣伝などの経費	2億8,445万円 (2億8,456万円)	▲0.0
土木費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	2億4,163万円 (3億107万円)	▲19.7
消防費	道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	25億8,515万円 (21億9,259万円)	17.9
教育費	消防・救急業務や災害対策の経費	6億467万円 (5億813万円)	19.0
災害復旧費	小・中学校の運営や社会教育などの経費	10億4,406万円 (9億2,511万円)	12.9
公債費	災害復旧工事などの経費	0.5万円 (0.5万円)	0.0
予備費	緊急時のための目的を定めていない予算	18億6,735万円 (19億5,601万円)	▲4.5
	過去の借入金の返済金	2,000万円 (2,000万円)	0.0

※災害復旧費は名目のみ予算計上(1万円未満のため千円単位まで表示)しています。

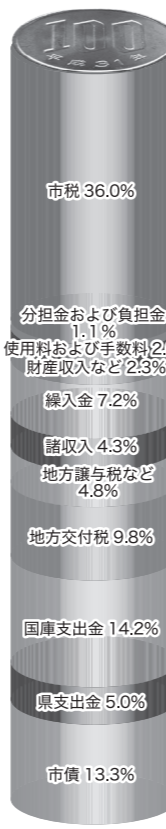
歳出(性質別)



歳出(目的別)



歳入



歳入

項目	内容	平成31年度()は30年度	前年度比(%)
市税	市民税や固定資産税など	149億9,219万円 (149億2,461万円)	0.5
分担金および負担金	保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	53億9,067万円 (54億8,465万円)	▲1.7
使用料および手数料	保育料、養護老人ホーム入所者負担金など	1億6,597万円 (2億1,855万円)	▲24.1
財産収入など	市営住宅使用料、ごみ・し尿処理使用料、各施設の使用料など	2億9,307万円 (2億8,770万円)	1.9
繰入金	土地売却収入、寄附金など	3億4,470万円 (3億4,650万円)	▲0.5
諸収入	財政調整基金繰入金、水道会計退職手当組合負担金繰入金など	10億7,468万円 (9億8,993万円)	8.6
地方譲与税など	他の収入科目に含まれない収入(貸付金元金収入など)	6億4,150万円 (7億3,727万円)	▲13.0
地方交付税	国や県が徴収した税の一部を一定割合で交付されるお金	7億3,640万円 (6億9,187万円)	6.4
国庫支出金	市の財政力などに応じて国から交付されるお金	14億7,473万円 (13億3,128万円)	10.8
県支出金	特定の目的のために国から交付されるお金	21億3,156万円 (16億2,591万円)	31.1
市債	特定の目的のために県から交付されるお金	7億5,131万円 (7億1,260万円)	5.4
	大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れるお金	19億8,760万円 (24億9,835万円)	▲20.4

用語解説

一般会計・特別会計

地方公共団体の行政運営上基本的な分野を行う会計を「一般会計」といい、特定の収入で特定の事業を行う会計を「特別会計」という。

歳入・歳出

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における全ての収入を歳入といい、全ての支出を歳出という。

自主財源・依存財源

市が自主的に調達するお金かどうかによって歳入を区分したものの。市税や保育料、市営住宅使用料や施設の使用料などが自主財源となる。また、国・県支出金や地方交付税など、国や県から市に入ってくるお金は依存財源となる。市債も依存財源に含まれる。

性質別歳出

市の経費をその性質ごとに、義務的経費、投資的経費、そのほかの経費に分類したもの。義務的経費は支出が義務付けられている経費。投資的経費は道路や公共施設の建設などにかかる経費。

目的別歳出

市が行う事業を目的別に分類するもので、行政上の特色などを知らることができる。

4 安心できるまち

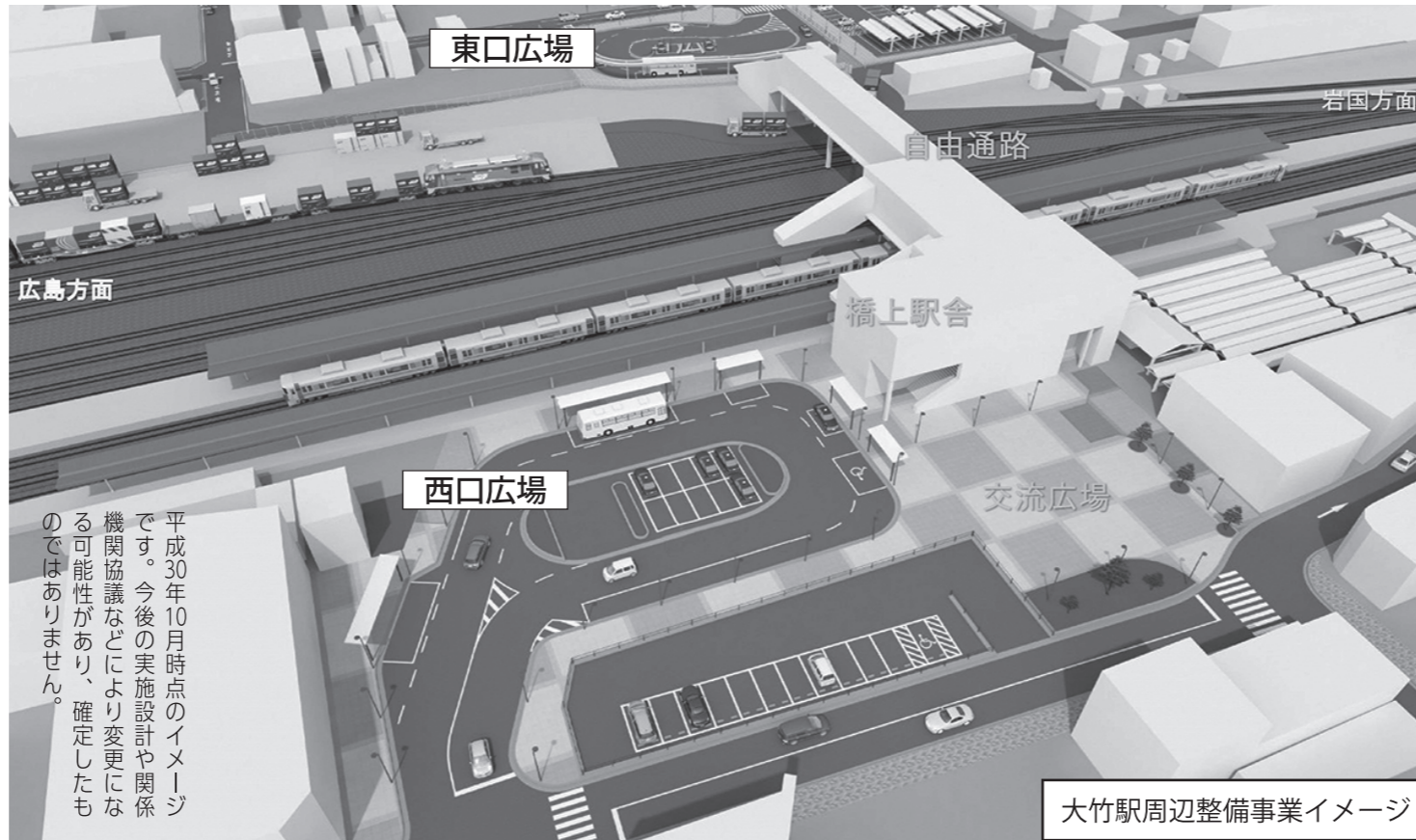
- 市立保育所等整備事業(新規)713万円
市役所本庁舎駐車場内に公立保育所と子育て支援関連施設を整備します。
なかはま保育所と立戸保育所を統合移転し、子育て支援センター(どんぐりHOUSE)を移転するほか、ネウボラ(注)機能、保健センター(母子保健事業)機能などを新たに追加します。
令和元年度は施設的设计業務を継続し、令和2・3年度に工事、令和4年度に開設予定です。
(注)「ネウボラ」…妊娠期から就学前の子どものいる家庭に対し、母子保健や子育て支援の専門職員による切れ目のない支援を行う仕組み
- 予防接種推進事業(拡充)8,518万円
麻疹、風疹やポリオなどの人から人へ感染する恐れのある感染症の発生やまん延を防ぐため、予防接種を実施します。
個人の感染防御および重症化予防のため、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌ワクチンの接種を実施します。
令和元年度から成人の風疹抗体検査・予防接種事業を開始します。

5 心にゆとりを感じるまち

- オリンピック選手等交流事業(新規)100万円
東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた機運を醸成し、市民のスポーツへの関心と、競技力の向上のため、広島県で事前合宿を行うメキシコ選手などとの交流を行います。
- 大竹会館改築等事業(拡充)1億9,300万円
公共施設の規模適正化および防災機能の強化、利用者の利便性の向上のため、耐震性に問題のある旧館と、新館(エスポワール)を解体します。大竹警察署側に新築棟を増築し、アゼリアホールも一部改修します。令和元・2年度に工事予定です。

6 行政・社会の仕組みづくり

- まちづくり基本構想等策定事業(新規)826万円
本市の将来像を示し、まちづくりや行政運営の指針としていのがまちプランは令和2年度に目標年度を迎えます。
市民と行政がともに目指す未来に向け、協働してまちづくりを進めていくための新しい指針となる大竹市まちづくり基本構想等を令和2年度までに策定します。



平成30年10月時点のイメージです。今後の実施設計や関係機関協議などにより変更になる可能性があります。確定したものではありません。

子育て関係にも新たな予算が組まれたようですね。市役所本庁舎駐車場内に公立保育所の統合移転と子育て支援関連施設を整備するための設計を行い、子育てしやすいまちづくりを進めます。将来のためには、どのようなことを行いますか。中長期的な視点で将来予想される財政負担に備え、各種基金への積み立てを行っています。平成から令和へとつながる時代。希望に満ちたまちづくりの予算になればと思います。



大竹会館改築のイメージ▲

- 予算書を販売(消費税込み1,000円)
- 問い合わせ 企画財政課 ☎2121

予算書(A4版334ページ)は、1,000円で企画財政課、各支所で販売しています。(当初予算の概要は無料配布)市立図書館や情報公開コーナー(市役所2階)、市のホームページでもご覧いただけます。

今年度の主な事業について、教えてください。上にイメージ図がありますが、いよいよ大竹駅が変わりますね。今年度に、長年の懸案事項を解決する「大竹駅周辺整備事業」が本格的に動き出します。4月には市民や駅利用者にも、デザインなどの意見を聞くアンケートも実施しました。それと、休日には家族連れでにぎわう大型複合遊具のある晴海臨海公園ですが、市の魅力を一層高めるよう「晴海臨海公園整備事業」も継続して行います。昨年は県内各地で豪雨災害に見舞われましたが、どのような防災関係の予算がありましたか。災害の多発する時代です。防災拠点となる「本庁舎耐震改修事業」や「大型化学消防ポンプ自動車」の整備など、住民の安全を守る事業にも力を入れます。



主要事業

新規拡充
その他主なもの

1 大竹を愛する人づくり

- 英語力向上事業84万円
中学生全体の英語力の向上を目指し、市内の中学校に通う中学3年生に日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定料を全額助成(年1回)します。

2 生活基盤が整ったまち

- 大竹駅周辺整備事業(拡充)7億7,967万円
鉄道施設に関する工事の実施協定を平成30年12月に鉄道事業者と締結し、平成30年度から令和5年度までで総額39億2千万円の継続費を設定しました。
令和元年度は自由通路や橋上駅、東西広場の工事に必要な実施設計、関連する鉄道施設の支障物件移設工事、西口広場の一部改良工事を行います。
令和4年度末に橋上駅の開業と自由通路の供用開始、令和5年度末に東西広場が完成予定です。
- 晴海臨海公園整備事業(拡充)2億3,848万円
幅広い世代が集えるファミリーゾーン・シーサイドゾーンの整備を進めています。
令和元年度は、シーサイドゾーンの盛土整地工事と、南北を結ぶ幹線園路や展望施設、デイキャンプが楽しめる海辺の広場を整備します。

3 安全なまち

- 大型化学消防ポンプ自動車整備事業(新規)9,717万円
消防力強化のため、大型化学消防ポンプ自動車(水槽1,500ℓ、薬液槽1,800ℓ)を整備します。
- 本庁舎耐震改修事業(拡充)4億73万円
築後約40年が経過し、耐震性に問題のある市役所本庁舎に防災拠点としての機能を確保するため耐震補強等の改修を行います。改修工事は、令和2年度まで行います。



◀耐震化工事のため、南玄関側駐車場の一部が利用できません。事務室の移動などもあり、ご不便をおかけしています。